

2019年(令和元年)12月21日(土)

新ブランド米へ試食会

三島のNPO



三島市のNPO法人
グラウンドワーク三島
(GW三島)が、三島
発の新しいブランド米
創出を目指して同市中
郷地区で試験栽培した
お米の試食会が19日、
同市芝本町の事務所
で開かれた。写真。主婦

や食堂主、市議、県議
ら約20人がお米を食
べ、粘りや味、つや、
光沢などを吟味した。
GW三島は、日本た
ばこ産業(JT)植物
イノベーションセンタ
ー(磐田市)が199
0年代に開発したお米

を三島のブランド米に
することを目指してい
る。昨年は4品種を60
平方メートルで育てたが、2
年目の今年は「いわた
5号」「いわた8号」
「いわた12号」の3品

種を約1000平方
メートルで育てた。試食会では、
参考の1品種を加えた
4品種を、品種名を隠
して食べ比べた。

「つやがありねっと
りしている」「甘みを
感じるが少し柔らか
い」「粘りがある」な
どと参加者は評価。「い
わた12号」の評価が高
かった。今後、来年の
栽培方針を決める。

JT植物イノベーシ
ョンセンターの沼沢広
宣・主任研究員は「J
Tとして米の新品種開
発は中止となったが、
作った者としては新品
種は子供のようなも
の。冷蔵庫に保存して
いた子供たちが世の中
に出ることになればう
れしい」と話した。

【石川宏】